

## 国語科単元指導計画表【第1学年】「B書くこと」

月	指導 時数	単元名 (教材・ 題材)	指導事項 (◎：重点的に指導する事項)					主な 言語活動
			課題設定 や取材	構成	記述	推敲	交流	
12	10	かるたをつくろう (あつまれ、ふゆのことば)	◎経験したことから冬の言葉を集める。	リズムを考えながら、短い文で読み札を作る。	語と語のつながりに注意してかるたの文を書く。	読み返し、表現が適切か、誤字脱字はないかなどを確かめる	かるたを見せ合ったり、かるたで遊んで楽しんだりする。	冬の言葉を集め、かるたの文を書く。
12	8	好きな本を紹介しよう (ずっと、ずっと、だいききだよ)	題名や登場人物、出来事など本の紹介に必要な事柄を集める。	本の紹介に必要なことを理解して、紹介カードを書く。	文と文のつながりに気を付けて紹介する文章を書く。	読み返し、表現が適切か、誤字脱字はないかなどを確かめる。	書いたカードを読み合い、感想を伝える。	読んだ本について、好きなところを紹介する。
3	10	思い出して書こう (いいこといっぱい一年生)	経験したことから書く題材に必要な事柄を集める。	事柄の順序に沿って簡単な構成を考える。	◎文と文の続き方、句読点やかぎの使い方に注意して書く。	文章を読み返す習慣を付け、間違いなどを気づき、直す。	書いたものを読み合い、感想を伝え合う。	一年間を振り返り、思い出のアルバムを作る。

## 国語科単元指導計画表【第1学年】「C読むこと」

月	指導 時数	単元名 (教材・ 題材)	指導事項 (◎：重点的に指導する事項)					主な 言語活動
			音読	説明的な 文章の解 釈	文学的な 文章の解 釈	自分の考 えの形成 及び交流	目的に応 じた読書	
6	8	写真や絵で確かめながら読もう (くちばし)	文章の構成が意識できるように役割読みをする。	◎説明の順序を考えながら内容の大体を読む。		文章の内容と自分の経験を結び付けて、感想をもつ。	生き物の本や図鑑を探したり読んだりする。	特徴や働きに着目して読み取り、くちばしクイズを作る。
10	10	想像を広げながら読もう (くじらぐも)	場面の様子が表れるように音読する。		◎登場人物の行動を中心に想像を広げながら読む。	書いたものを読み合っ、感想を伝え合う。		想像を広げて読み、くじらぐもに手紙を書く。
11	9	自動車のすばらしいところを見つけよう (じどう車くらべ)	書かれている内容を考えながら音読する。	説明の順序を考えながら内容の大体を読む。		◎自動車のすばらしいところをたくさん見つけて、伝え合う。	自動車についての本や図鑑を読む。	自動車のすばらしいところを見つけて、自動車図鑑を作る。
12	8	好きな本を紹介しよう (ずっと、ずっと、大すきだよ)	語のまとまりや言葉の響きの気をつけて音読する。		◎登場人物の行動を中心に想像を広げながら読む。	お話と自分の経験とを結び付けて読む。	知らせたい本を選んだり、友達の紹介した本を読んだりする。	読んだ本について、好きなところを紹介する。
2	12	動物の赤ちゃんのすばらしいところを見つけよう (どうぶつ赤ちゃん)	書かれている内容を考えながら音読する。	時間的な順序を考えながら内容の大体を読む。		◎動物の赤ちゃんのすばらしいところをたくさん見つけて、伝え合う。	動物の赤ちゃんについての本や図鑑を読む。	動物の赤ちゃんのすばらしいところを見つけて、動物図鑑を作る。

## 国語科単元指導計画表【第2学年】「B書くこと」

月	指導時数	単元名 (教材・ 題材)	指導事項 (◎：重点的に指導する事項)					主な 言語活動
			課題設定 や取材	構成	記述	推敲	交流	
4	4	書くことをきめて、知らせよう (今週のニュース)	◎身近な出来事から書くことを決める。	事柄の順序に沿って、出来事の文と詳しく説明する文を書く。	事柄の順序に沿って、文と文とつながりを考えて書く。	主述をはっきりさせ、読み手にわかりやすい文章になっているか確かめる。	書かれた内容についての感想をもって伝える。	友だちに知らせたいことを書く。
7	10	物語を読んで、紹介文を書こう (黄色いバケツ・お話の国の友だち)	読みたい本を選び、登場人物の人柄を説明するのに必要な情報を集める。	紹介文に必要な事柄を整理して書く。		書いた文を音読し、表記の誤りや主述の誤りを直す。	紹介文を読み合い、会いた人物について自分の思いをもつ。	物語を読んで、好きなところやよかったところを紹介する。
9	12	読んで考えたことを書こう (どうぶつ園のじゅうい)	示された観点で、題材を選んで書く。	「はじめ・中・おわり」の構成で文章を書く。	文と文のつながりや、句読点・かぎ括弧を正しく使って書く。	文と文のつながりや、句読点・かぎ括弧の使い方の誤りを直す。		自分の経験と結び付けて感想を書く。
1	12	知っていることをつなげて読もう (おにごっこ)	経験したことなどから書くことを決めて書く。	示された構成を使って書く。	指示語や接続語を活用して書く。	書いた文を音読し、表記の誤りや主述の誤りを直す。	書いた説明文を読み合せて感想をもつ。	遊び方や遊び方の決まりを紹介文を書いて紹介する。

## 国語科単元指導計画表【第2学年】「C読むこと」

月	指導時数	単元名 (教材・ 題材)	指導事項 (◎：重点的に指導する事項)					主な 言語活動
			音読	説明的な 文章の解釈	文学的な 文章の解釈	自分の考 えの形成 及び交流	目的に応 じた読書	
6	14	お話を読んで、感想を書こう (シミ)	語のまとまりや言葉の響きに気を付けて音読する。		◎場面の様子や人物の行動・会話を読み取り、シミの気持ちを想像する。	文章中の大事な言葉や文を書き抜き、シミに言っていたことを書く。	レオ＝レオニの他の作品に興味をもって読む。	想像を広げながら読み、感想を書く。
7	10	物語を読み、紹介文を書こう (黄色いバケツ・お話の国の友だち)	きつねの子の気持ちが伝わるように音読する。		◎場面の様子や登場人物の行動をもとに、きつねの子の心情を読み取る。	黄色いバケツの好きなところやよかったところを紹介する。	楽しく読めるような本を選んで読む。	登場人物の行動に着目して読み取り、好きなところやよかったところを紹介する。
9	12	読んで考えたことを書こう (どうぶつ園のじゅうい)		◎時間的順序や事柄の順序を考えながら読み取る。		友だちの感想を読み、よいところを見つける。	興味のある科学読み物を読む。	順序を考えながら読み、感想を書く。
10	12	音読げきをしよう (お手紙)	人物の様子や気持ちが表れるように音読する。		◎人物の行動や会話を中心に想像を広げながら読む。	音読発表会をして、友だちのよいところを伝え合う。	ローベルの他の作品を読む。	人物の気持ちがよく分かるような音読げきをする。
10	10	くらべて読もう！本の中のあの子とわたし (わたしはおねえさん)	語のまとまりや言葉の響きに気を付けて音読する。		◎登場人物の行動や場面の様子を自分と比べながら読む。	心に残った言葉や文を書き抜き、手紙を書く。	シリーズ本や同年齢の子どもの登場する本を読む。	登場人物と自分を比べて読み、登場人物に手紙を書く。
1	12	知っていることをつなげて読もう (おにごっこ)		◎接続語や指示語に着目して、説明の順序を考えながら読む。		書かれていることと、自分の経験を結び付けて読む。		遊び方や遊び方の決まりを紹介文を書いて紹介する。

## 国語科単元指導計画表【第3学年】「B書くこと」

月	指導時数	単元名 (教材・題材)	指導事項 (◎：重点的に指導する事項)					主な言語活動
			課題設定 や取材	構成	記述	推敲	交流	
7	12	ほうこくする文章を書こう (気になる記号)	身近な記号を調べるために、必要な情報を集める。	自分の考えが明確になるように、段落相互の関係に注意する。		◎報告書を読み合い、文末表現や使い方を確かめる。	報告書を発表し合い、書き手の考えについて意見を述べ合う。	疑問に思ったことを調べ、報告書を書く。
11	7	せつめいのしかたを考えよう (すがたをかえる大豆・食べ物のみみつを教えます)	身近な食べ物から書くことを決め、必要な情報を調べる。	段落相互の関係に注意して文章を書く。	◎説明したい事を理由や事柄を挙げて書く。			収集した資料を使って説明する文章を書く。
2	16	報告書を書こう (本で調べてほうこくしよう・自分の言葉でまとめる)	◎本やインタビューなどから、書くために必要な事を調べる。	段落相互の関係などに注意して報告書を書く。	報告したいことの内容を明確にし、理由や事例を挙げて書く。		報告書を発表し合い、書き手の考えの明確さについて意見を述べ合う。	収集した資料を効果的に使って説明する文章を書く。

## 国語科単元指導計画表【第3学年】「C読むこと」

月	指導時数	単元名 (教材・題材)	指導事項 (◎：重点的に指導する事項)					主な言語活動
			音読・効果的な読み方	説明的な文章の解釈	文学的な文章の解釈	自分の考えの形成及び交流	目的に応じた読書	
5	10	読んで感想をもとう (イルカのねむり方・ありの行列)	内容の中心がよくわかるように音読する。	事実と意見との関係に注目して読む。		文章の要点や細かい点に注意しながら読む。		説明文の内容や書かれ方について感想を書く。
6	10	読んで考えた事をつたえよう (海をかつとばせ)	場面の様子がよくわかるように音読する。	中心となる語や文をとらえて、段落相互の関係を考えながら読む。	登場人物の行動や情景を、想像を広げながら読む。	書いたカードを読み合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気付く。		登場人物の人物柄を読み取り、物語紹介カードを作る。
9	12	物語の感想をまとめよう (ちいちゃんのかげおくり)	場面の様子がよくわかるように音読する。		◎登場人物の行動を中心に、想像を広げながら読む。	感想の書き方を比較し、意見を伝えあう。		自分の考えを明確にして感想を書く。
10	9	とんち話を楽しもう (三年とうげ)	内容の中心や場年の様子がよくわかるように音読する。	中心となる文をとらえて、段落相互の関係を考えながら読む。	◎登場人物の行動や会話を中心に、想像を広げながら読む。	文章の要点や細かい点に注意しながら読み、引用する。	いろいろなとんち話の本を選んで読む。	色々なとんち話を楽しみ、とんちブックを作る。
11	7	説明の仕方を考えよう (すがたをかえる大豆・食べ物のみみつを教えます)	内容の中心がよくわかるように音読する。	中心となる語や文に注目して要点をまとめ、小見出しをつける。		説明の仕方について注意して読み、文章を要約する。	すがたをかえる食べ物の本を選んで読む。	

## 国語科単元指導計画表【第4学年】「B書くこと」

月	指導 時数	単元名 (教材・題材)	指導事項 (◎：重点的に指導する事項)					主な 言語活動
			課題設定や取 材	構成	記述	推敲	交流	
6	12	調べたことを報告する文章を書く (読書生活について考えよう)	◎アンケートを作り書くうえで知りたいことを調べる。	段落相互のかわりを考えて構成する。	書くことの中心を明確にして、理由や事例を挙げて書く。	文章の間違いを正したり、より良い表現に書き直したりする。	書いたものを発表し合い、考えを交流する。	アンケートをして調べ、図表を使って整理して書く。
11	15	説明の仕方について考えよう (仕事リーフレットを作ろう)	内容を伝えるのに必要な写真を撮り取材をする。	◎内容のまとめごとに段落に書き分ける。	書くことの中心を明確にして、理由や事例を挙げ文章に対応した写真を用いて書く。	敬体と常体が混在しないように書く。	書いたものを紹介し、良さを伝え合う。	説明の工夫について、考えてまとめる。
12	9	物語を読んで感想文を書こう (三つのお願い)	物語を読んで、自分の経験や体験と重ねて考えたことを書く。	考えと根拠の関係に注意しながら、段落相互の関係に気をつけて書く。	◎自分の考えを述べるための根拠を挙げて書く。	より良い表現にするために、書いたものを見直す。	書いたものを読み合い、書き手の思いや考えの明確さについて感想を伝える。	物語を読んで、感想文を書く。

## 国語科単元指導計画表【第4学年】「C読むこと」

月	指導 時	単元名 (教材・題材)	指導事項 (◎：重点的に指導する事項)					主な 言語活動
			音読	説明的な文章の 解釈	文学的な文章の 解釈	自分の考えの 形成及び交流	目的に応じた 読書	
5	12	読んで自分の考えをまとめよう (大きな力を出す) (動いて、考えて、また動く)	内容の中心がよく分かるように音読する。	◎文章全体の構成に着目して、事実と意見の関係をとらえて、段落相互の関係を考えて読む。		筆者の考えに対する自分の考えを発表し、感じ方の違いに気づく。	工夫して、自分の求める答えを探し出した人のことを書いた本を読む。	力を発揮することについて書かれた本を読み、自分の考えをまとめる。
7	10	物語を読んでしょうかいしよう (一つの花)	場面の様子がよく分かるように音読する。		◎会話や心情表現、行動に着目し、人物の気持ちを考える。	物語の紹介の仕方から、一人一人の感じ方の違いがあることに気づく。	戦争や平和をテーマにした物語から、紹介したい本を選んで読む。	戦争や平和をテーマにした物語を読み、紹介する。
10	12	心のつながりを読もう (ごんぎつね)	場面の様子がよく分かるように音読する。		登場人物の性格や気持ちの変化・情景などを、叙述をもとに想像して読む。	◎文章を読んで考えたことを発表し合い一人一人の感じ方の違いがあることに気付く。	心の通い合いをテーマにした物語を選んで読む。	心の通い合いをテーマにした物語を読み、考えたことを話し合う。
11	8	説明のしかたについて考えよう (アップとルーズで伝える)	内容の中心がよく分かるように音読する。	目的に応じて、それぞれの段落が文章全体の中でどのような役割を果たしているかを考えて読む。		写真と本文との対応や、段落相互や文章中の対比的な表現に気づく。	雑誌や新聞などを読み、写真と文章との対応を確かめる。	説明的文章を読み、説明の工夫について考えてまとめる。
12	9	物語を読んで、感想文を書こう (三つのお願い)	場面の様子がよく分かるように音読する。		登場人物の性格や気持ちの変化・情景などを、叙述をもとに想像して読む。	文章を読んだ感想を交流し一人一人の感じ方の違いがあることに気付く。	他の感想文を読む。	物語を読んで感想文を書く。
1	10	科学読み物をしょうかいしよう (ウナギのなぞを追って)	内容の中心がよく分かるように音読する。	資料と文章を対比させながら、段落相互のつながりや事実と考察との関係を考えて読む。		◎目的や必要に応じて情報を区別し、要約をする。	科学読み物を選んで読む。	科学読み物をしょうかいする。

## 国語科単元指導計画表【第5学年】「B書くこと」

月	指導時数	単元名 (教材・題材)	指導事項 (◎：重点的に指導する事項)					主な 言語活動
			課題設定 や取材	構成	記述	推敲	交流	
7	10	自分の活動を振り返り、報告する文章を書こう～4年生に報告～(活動報告書)	委員会活動など、4年生に報告したいテーマを決定し、資料を集める。	知らせたいことを整理し、活動メモを作成する。	◎構成メモを基に、活動報告書の下書きを書く。	同じテーマのグループで読み合わせ、アドバイスを基に下書きを修正する。	友達の書き方の工夫や良さなど観点を示して感想を述べ合う。	活動を報告した文章を書く。
11	4	資料を用いて説明しよう(グラフや表を引用して書こう)	くらしについて考えを整理し、必要な資料を収集・整理する。	①意見とその理由を裏付ける資料の提示とそこから読み取れること③結論を構成メモにする。	◎引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書く。	小グループで読み合わせ、アドバイスを基に下書きを修正する。	考えや文章の書き方、表やグラフの用い方について意見や感想を述べ合う。	自分の課題について調べ、意見を記述した文章を書く。

## 国語科単元指導計画表【第5学年】「C読むこと」

月	指導時数	単元名 (教材・題材)	指導事項 (◎：重点的に指導する事項)					主な 言語活動	
			音読	効果的な 読み方	説明的な 文章の解 釈	文学的な 文章の解 釈	自分の考 えの形成 及び交流		目的に応 じた読書
5	7	筆者の考えをとらえ要旨をまとめよう(見立てる・生き物は円柱形)	筆者の主張が伝わりやすいように、声の速さや間の取り方に気をつけて読む。		◎筆者の主張を文章の組み立てを考えながら読み、自分の考えをもつ。		要旨をまとめたものを読み合う。		文章の重要な点を表現に即して的確に押さえ、まとめる。
6	10	伝記を読んで、儀兵衛の生き方について考えよう(百年後のふるさとを守る)		いろいろな人の生き方に学ぶために複数の本を読む。	物語と説明や筆者の考えとの部分を区別して読む。		◎儀兵衛の生き方について考えを話し合ったり、深めたりする。	同じ種類の本や文章から、目的に応じ、より適切なものを選ぶ。	伝記を読み、儀兵衛の生き方について考える。
11	8	筆者の伝えたいことを読み、自分の考えをまとめよう(天気を予想する)		文章構成の工夫をとらえるために、他の説明的な文章と比べながら読む。	◎資料の意図を考え、説明の工夫を考えながら読む。		筆者の主張や根拠などに対して自分なりの考えをまとめ、読み合う。		筆者の伝えたいことを読み、自分の考えをまとめる。
1	8	身近な例に置き換えて読み、自分の経験と関連付けて考えよう(ゆるやかにつながるインターネット)		身近な例に置き換えて読む。	◎自分の経験と関連付けながら読み、自分の考えを明確にする。		インターネットによる人とのつながりについて、自分の考えを発表し合う。		身近な例に置き換えて読み、自分の経験と関連付けて考える。
2	7	人物の生き方や考え方をとらえ、読書の世界を広げよう(わらわの中の中の神様)	叙述を基に人物の心情を想像して音読する。	同じ作者の作品を比べながら読む。		◎登場人物の相互関係に基づいて、心情や場面の描写をとらえる。	交流して、友達の間での共通点や相違点に気付く。	気に入った作品を紹介するために、複数の作品を比べて読む。	同じ作者の作品を比べて読み、選んだ作品の魅力を紹介する。

## 国語科単元指導計画表【第6学年】「B書くこと」

月	指導 時数	単元名 (教材・題 材)	指導事項 (◎：重点的に指導する事項)					主な 言語活動
			課題設定や 取材	構成	記述	推敲	交流	
9	12	5年生に修学旅行のよさを伝えるパンフレットを作ろう(ようこそ、わたしたちの町へ)	◎書くことを決める際、いくつかのことを比較したり、関連付けたりして課題意識を明確にする。		目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりする。	図表やグラフの特徴、効果を考えて用いる。	他の人の文章について、目的に照らしてよりよくするためのコメントする。	修学旅行のパンフレットを作り、5年生に紹介する。
10	14	自分の考えを明確に伝えよう(平和について考える・平和のとりでを築く)	情報収集の方法のいくつかを知り、用いる。	自分の考えや意見とは異なる立場に立つ他者の存在を意識し、構成を工夫して書く。		◎注や引用などの情報を加えて、意見が説得力をもつように書く。	効果を意識して、引用や表現を工夫する。	構成を考えながら、相手に意見が明確に伝わる意見文を書く。
1	7	随筆を書こう(自分を見つめ直して)	家庭・学校・社会など、広い範囲から書くことを決める。		◎出来事などの描写と自分の感想を書き分ける。	アドバイスをもとに、推敲する。	随筆の特徴に沿って文章が書けているか、互いにアドバイスする。	小学校生活の思い出をまとめよう。

## 国語科単元指導計画表【第6学年】「C読むこと」

月	指導 時	単元名 (教材・題 材)	指導事項 (◎：重点的に指導する事項)					主な 言語活動
			音読	効果的な読み 方	説明的な文章 の解釈	文学的な文章 の解釈	自分の考えの 形成及び交流	
5	7	文章と対話しながら読み、自分の考えをもとう(感情・生き物はつながりの中に)			◎筆者の意図をとらえる。		交流することの意味を見だし、友達との共通点や相違点を明らかにしながら、自分の考えを深める。	筆者の考えを読み、意見交流をしよう。
7	6	伝統文化を楽しもう(狂言柿山伏)	狂言独特の表現や長子のおもしろさを意識し、楽しみながら声に出す。	「柿山伏」のおもしろさに気づく。			◎相手の考えと自分の考えとの共通点や相違点を踏まえて、自分の考えを広げたり深めたりする。	複数の狂言や、その他の伝統文化を比べて読み、そのおもしろさを味わう。
10	8	作品の世界を深く味わおう(やまなし・イーハトーヴの夢)		二つの場面を比べて読み、作品の特徴や作者の思いをとらえる。		◎場面の様子をとらえて、優れた叙述に気がつく。	本を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを深める。	複数の本や文章を比べて読み、作者のものの見方や考え方について考える。
10	7	言葉について調べて考えよう(言葉は動く)		自分で調べたり、例を補ったりしながら、読み取る。	◎時代・世代による言葉の違いや変化について、自分なりの課題をもって資料を読む。		友達の作品を読み合うことで、自分の考えにはなかったことに気づき、自分の考えをさらに広める。	言葉について調べ、「言葉カード」を作り交流する。
11	5	ものの見方を広げよう(『鳥獣戯画』を読む)	声に出して文章のリズムを味わう。		筆者の表現に着目したり、図版と文章を対応させたりしながら読む。		◎効果についてまとめたことを発表し合うことで、自分の考えを広げたり深めたりする。	絵を読み、考えを伝え合う。